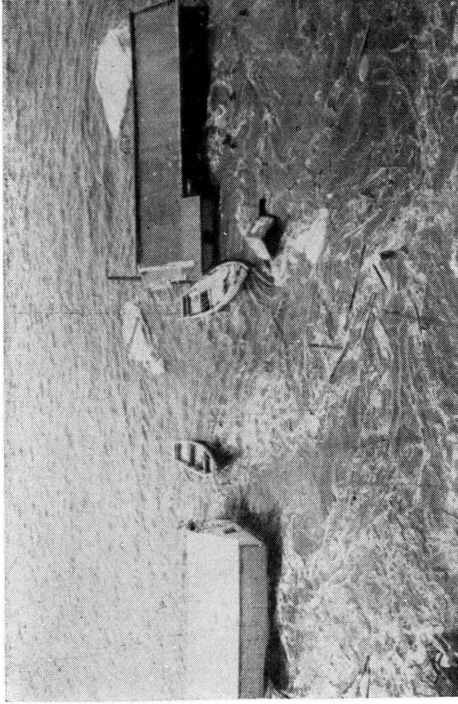
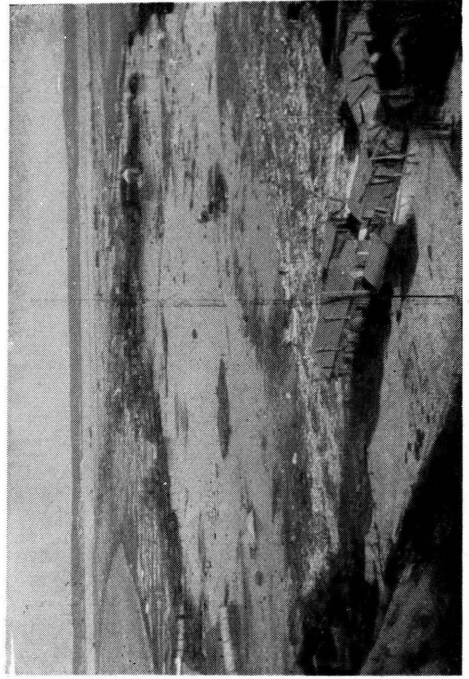


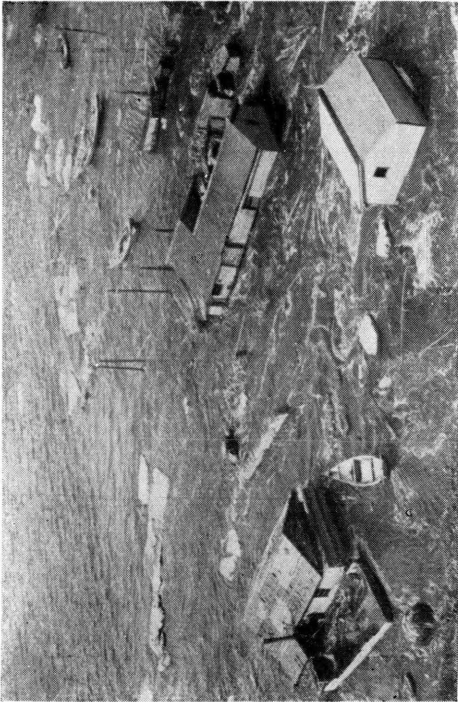
十勝沖地震被害写真



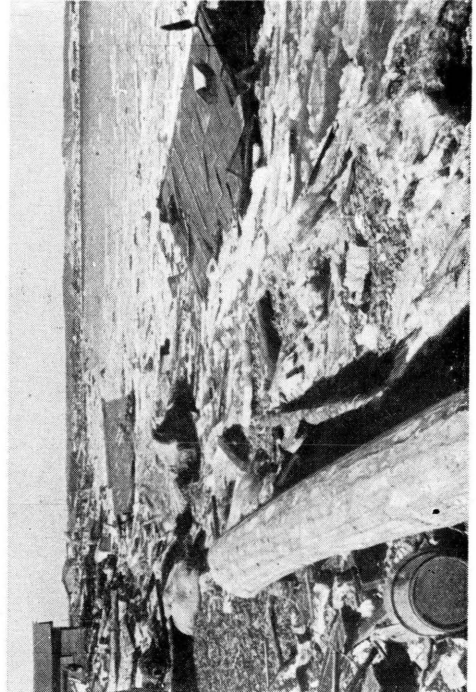
第2図 霧多布 津波来襲



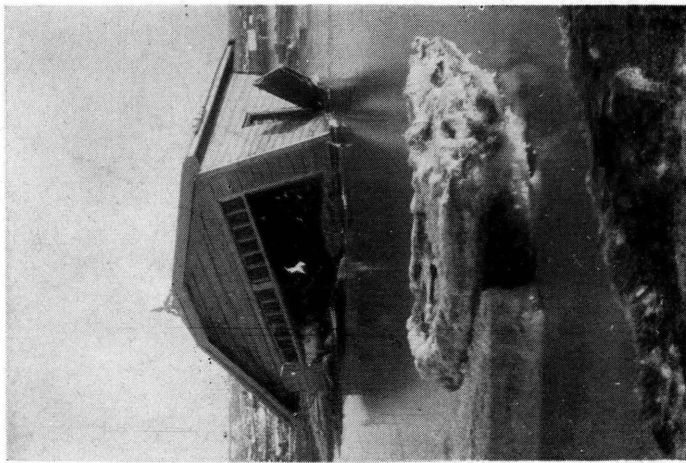
第4図 霧多布 市街浸水状況



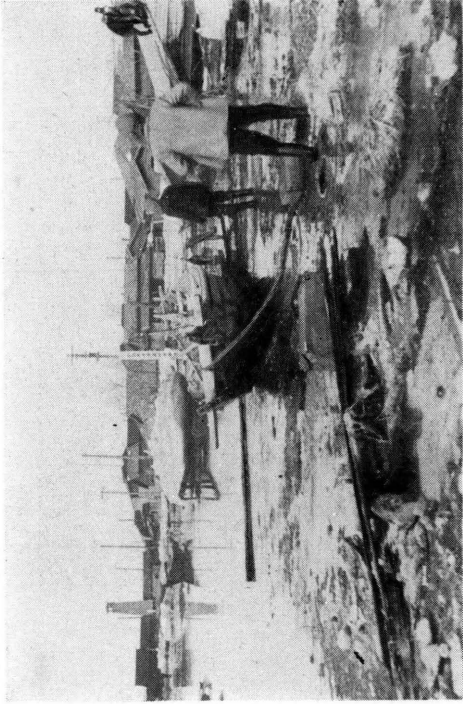
第1図 霧多布 押し寄せる津波



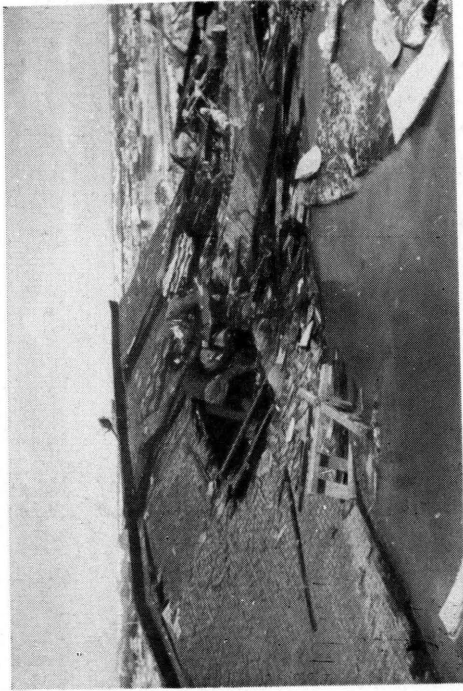
第3図 霧多布 津波後の惨状



第5図 霧多布における流失家屋  
(北海道新聞による)



第6図 霧多布 浜中灣寄り津波直後



第7図 霧多布 津波の惨状



第8図 浜中村 琵琶瀬橋 (釧路測候所報告)



第9図 霧多布 (釧路測候所報告)



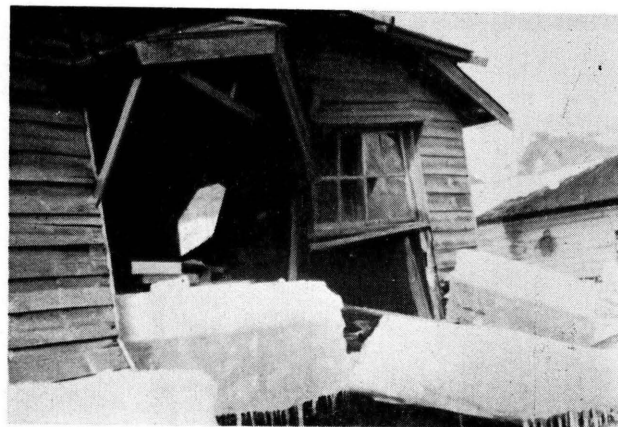
第10図 厚岸 床潭海岸 (釧路測候所報告)



第11図 厚岸床潭部落 津波に洗われた海岸 (釧路測候所報告)



第12図 昆布森市街遠望  
海岸の黒い部分と前方の山の手前を左へのびる部分が津波に洗われた区域（釧路測候所報告）



第13図 氷塊の激突により大破した民家(釧路測候所報告)



第14図 中央部に三段に重つた氷盤が見える。この川が前の山につき当つて右折し、崖の下を通つて海にそそぐ。(釧路測候所報告)



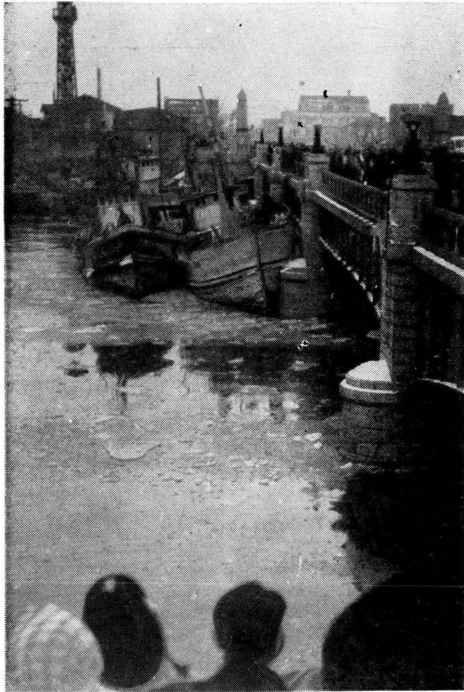
第15図 巨大な氷塊が民家に接触しながら少しも損傷を与えていない。(釧路測候所報告)



第16図 釧路 春採における「づり山」の被害  
 (釧路測候所報告)



第17図 釧路 築港<sup>たに</sup>船入湖  
 津波第一波、退潮時の状況  
 (釧路測候所報告)



第18図 釧路川における津波による増水  
 (北海道新聞による)



第19図 釧路 新埠頭  
 (北海道新聞による)



第20図 尺別一直別鉄道被害（北海道新聞による）



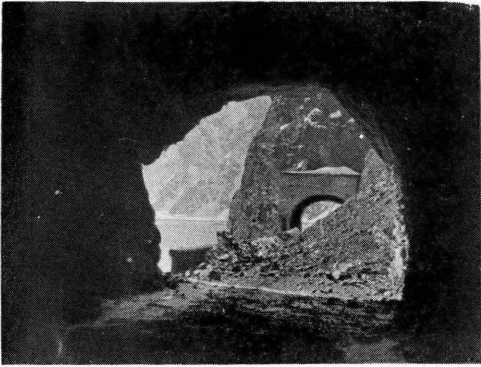
第21図 厚内における線路歪曲（北海道新聞による）



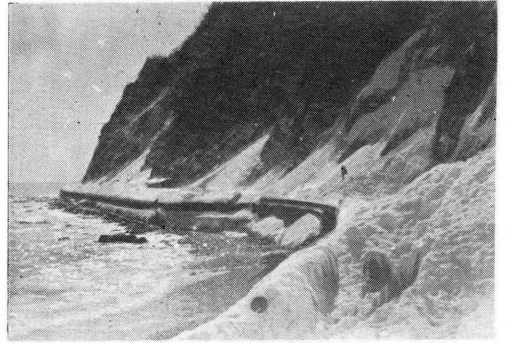
第22図 止若 新田工場における煙突の倒壊  
左レンガ製 右鉄筋コンクリート製



第23図 大津海岸における地割れ



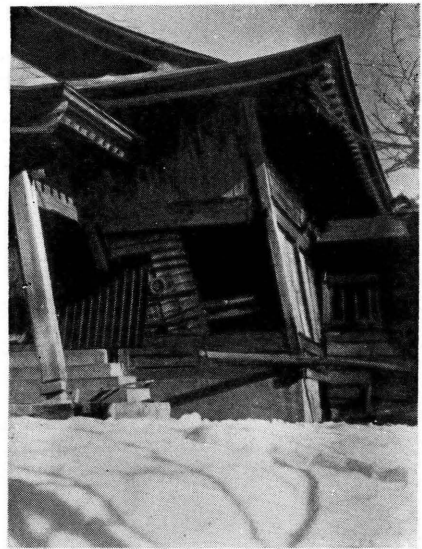
第24図 黄金道路第3号トンネル附近  
 (守田、南、報告による)



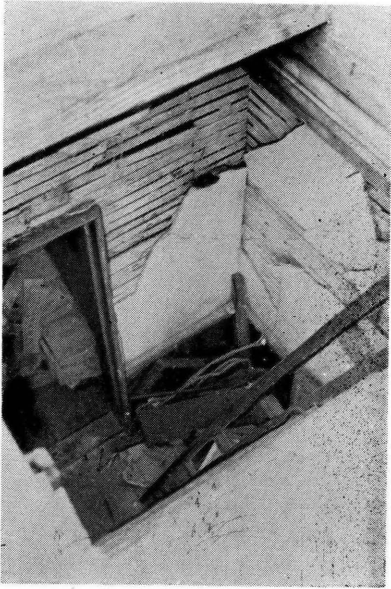
第25図 音調津、目黒間 地震のため起つた雪崩れ  
 (守田、南、報告による)



第26図 アーツ川附近海浜の裂線  
 (守田、南、報告による)



第27図 大樹神社  
 (大樹村役場提供)



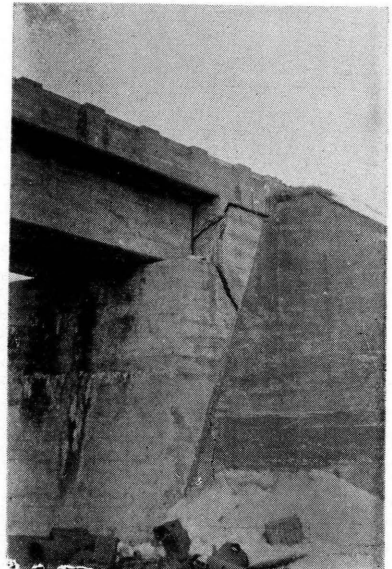
第28図 浦河測候所 壁の脱落



第29図 浦河小学校の門柱 200cm×60cm×60cm  
転倒方向 S25° E



第30図 浦河日赤病院 (その1)  
病棟半倒壊

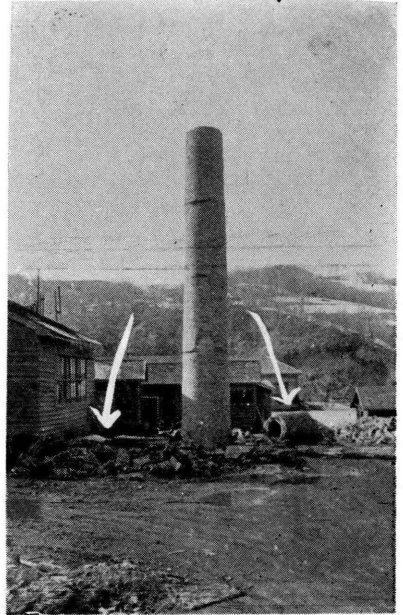


第31図 陸橋 (浦河市街)





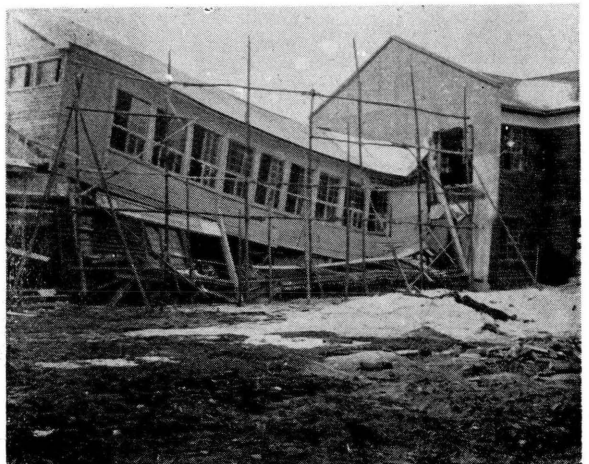
第32図 浦河日赤病院 (その2)  
ゆがんだ内部 傾斜 14°



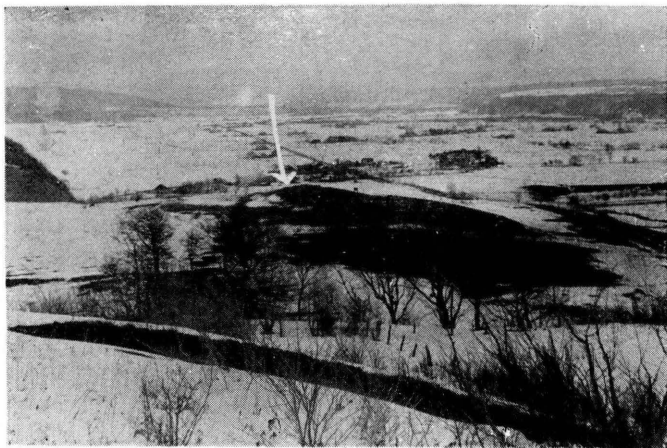
第33図 浦河日赤病院 (その3)  
上部の飛散した煙突  
落下方向 S3°W ~ N3°E



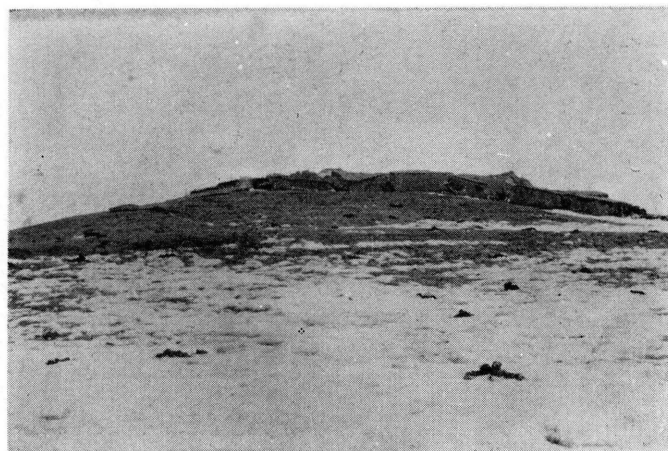
第34図 墓石の移動 (於浦河)  
30cm × 30cm × 80cm



第35図 浦河高校々舎の全壊



第36図 新冠の地割れ(その1) 矢印の部分が地割れのか所  
(大野報告)



第37図 新冠の地割れ(その2) 北側より望む (大野報告)



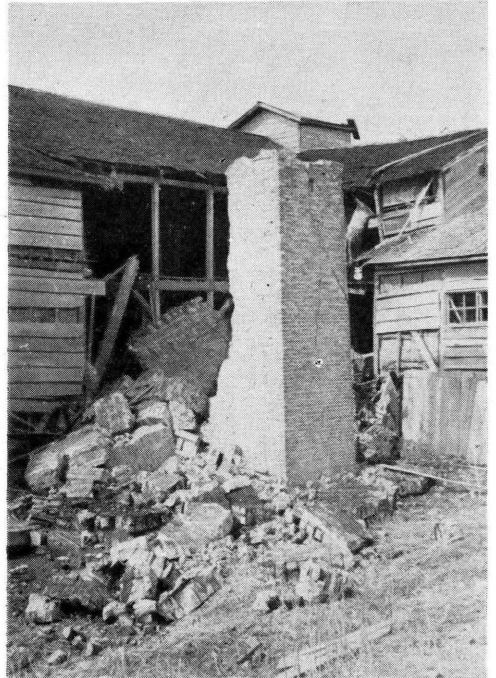
第38図 新冠の地割れ(その3) 地割れ中心部 (大野報告)



第39図 厚賀営林署官舎の棟瓦が南側の屋根に落ちている  
(苫小牧測候所報告)



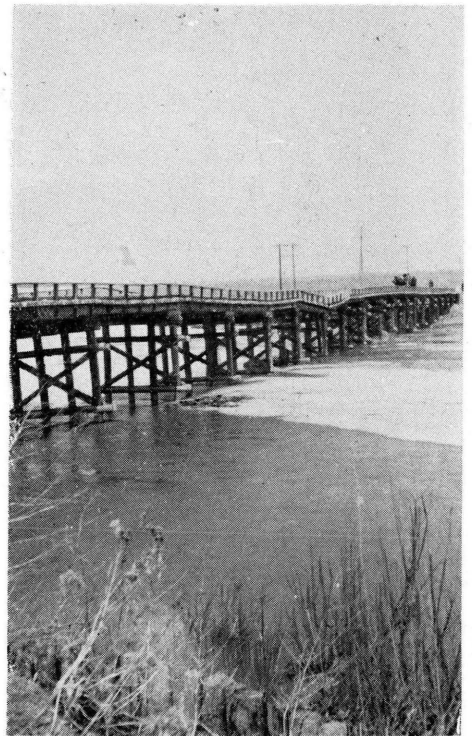
第40図 壁の脱落 (様似旧市街)



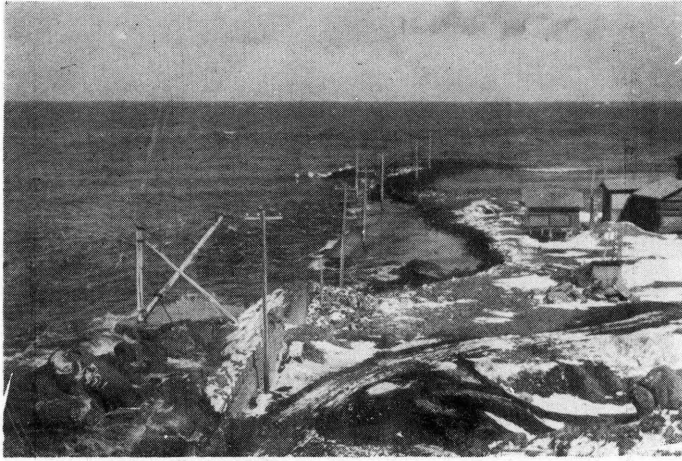
第41図 鵜川村土管工場の煙筒 (幅2米)  
地上5.3米より折損 (室蕨測候所報告)



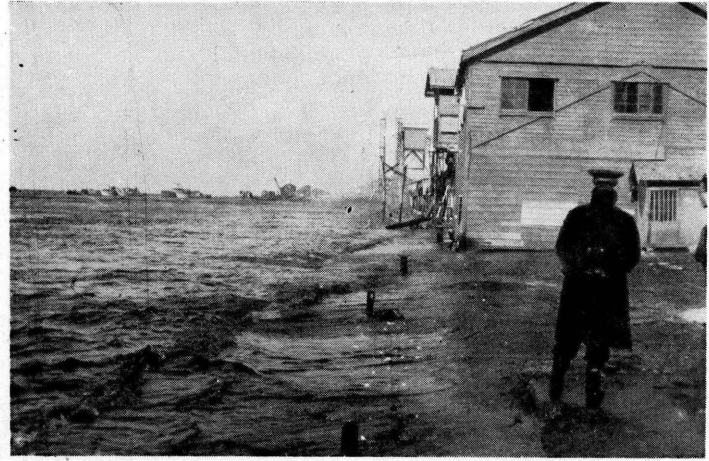
第42図 地割れ 最大120cm (鵜川村)  
(室蕨測候所報告)



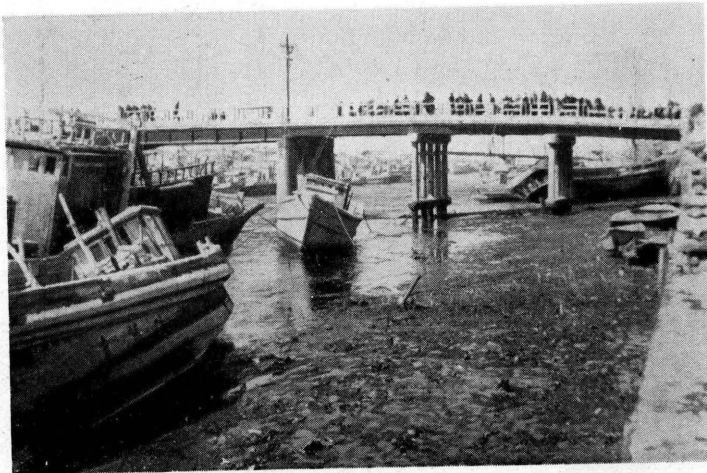
第43図 鵜川橋の沈下 (中央部)  
(室蕨測候所報告)



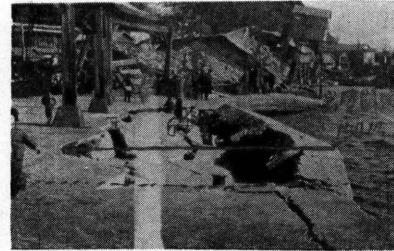
第44図 八戸鮫港 13時45分の津波により石炭流さる  
(八戸測候所報告)



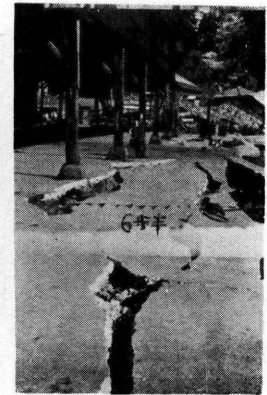
第46図 13時45分 八戸鮫港の津波 (八戸測候所報告)



第45図 八戸市内湊橋 正午減水状況 (八戸測候所報告)

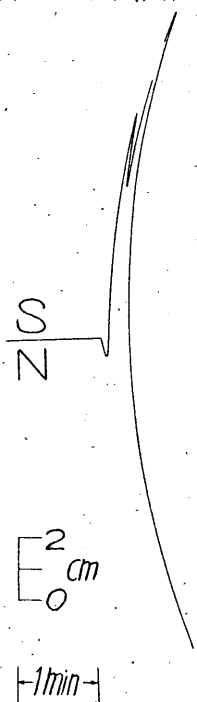


第47図 日冷倒壊と岩壁の亀裂崩壊  
釜石港  
(宮古測候所報告)

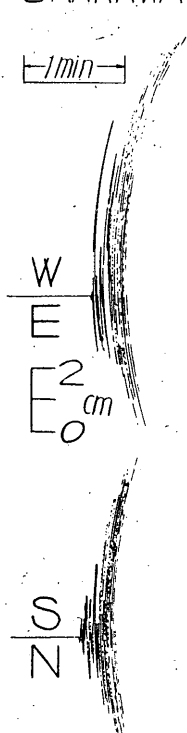


第48図 岩壁の亀裂と崩壊  
釜石港  
(宮古測候所報告)

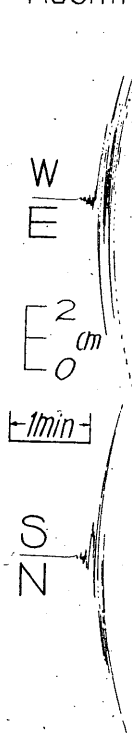
WAKKANAI



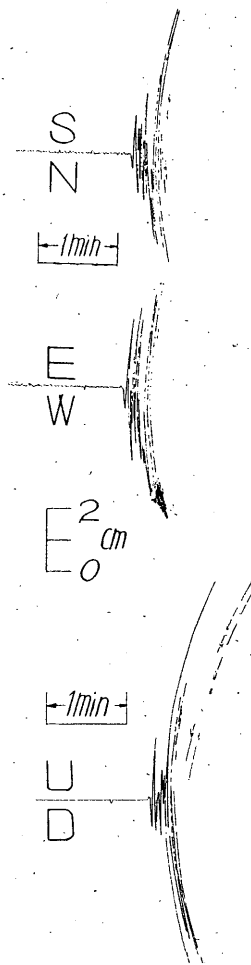
URAKAWA



KUSHIRO



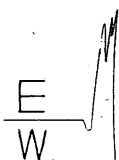
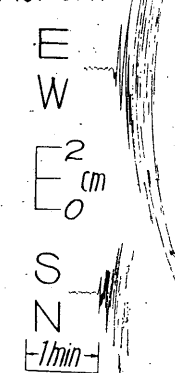
SAPPORO



OBIHIRO



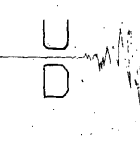
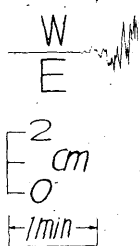
AOMORI



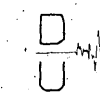
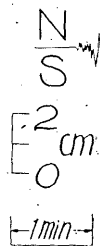
W  
E

D  
U  
1 min

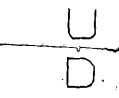
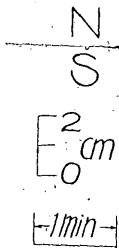
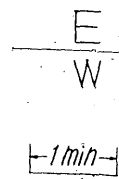
MIYAKO



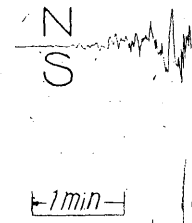
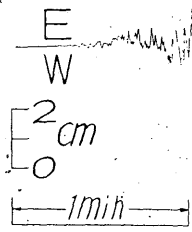
HACHINOHE



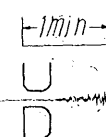
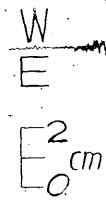
TSUKUBASAN



SENDAI



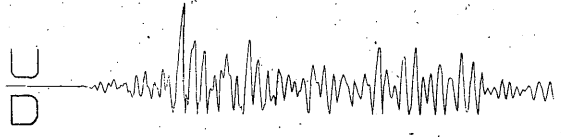
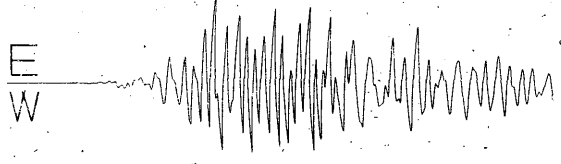
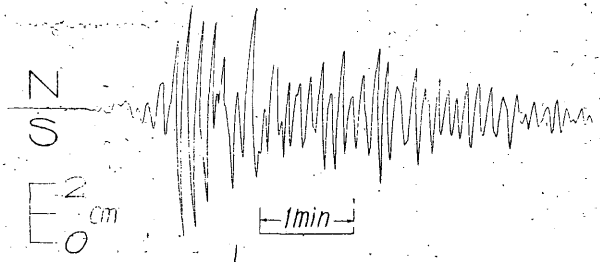
OSHIMA



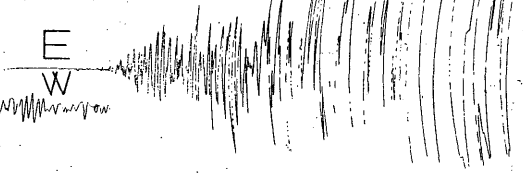
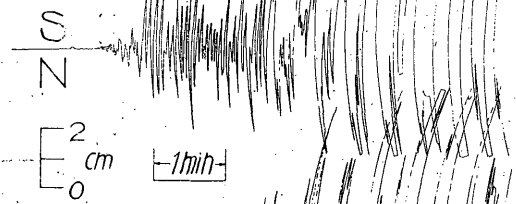
KUSHIRO



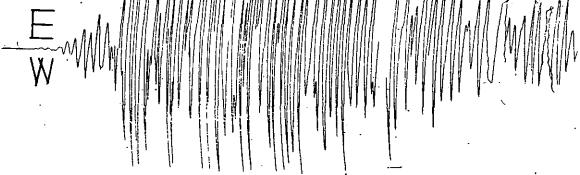
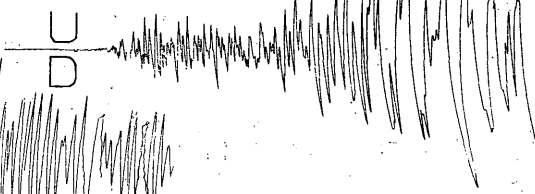
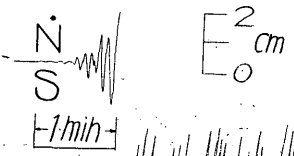
WAKKANAI



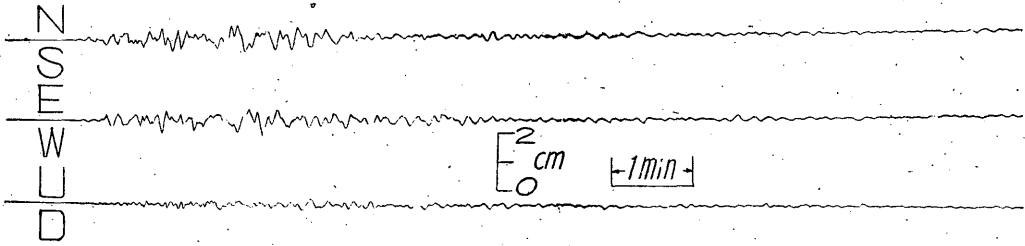
KOBE (W)



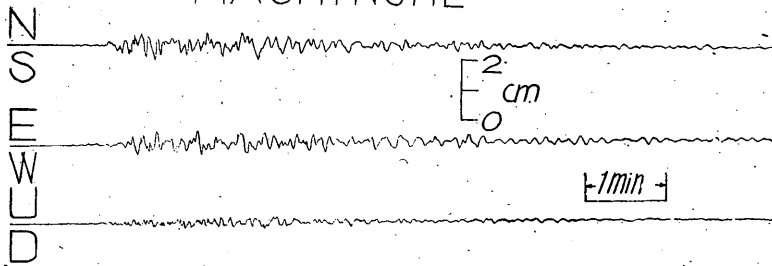
AOMORI



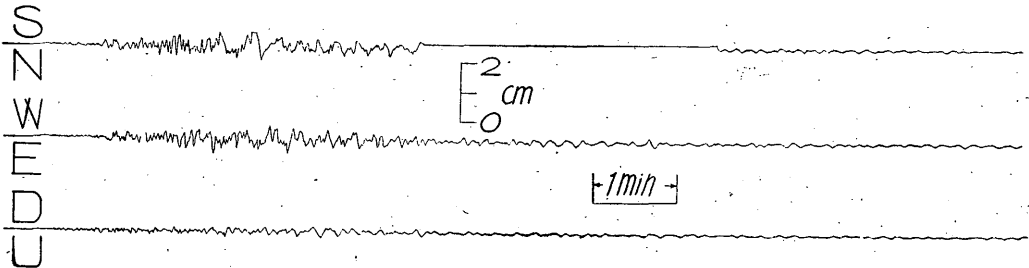
# MIYAKO



# HACHINOHE



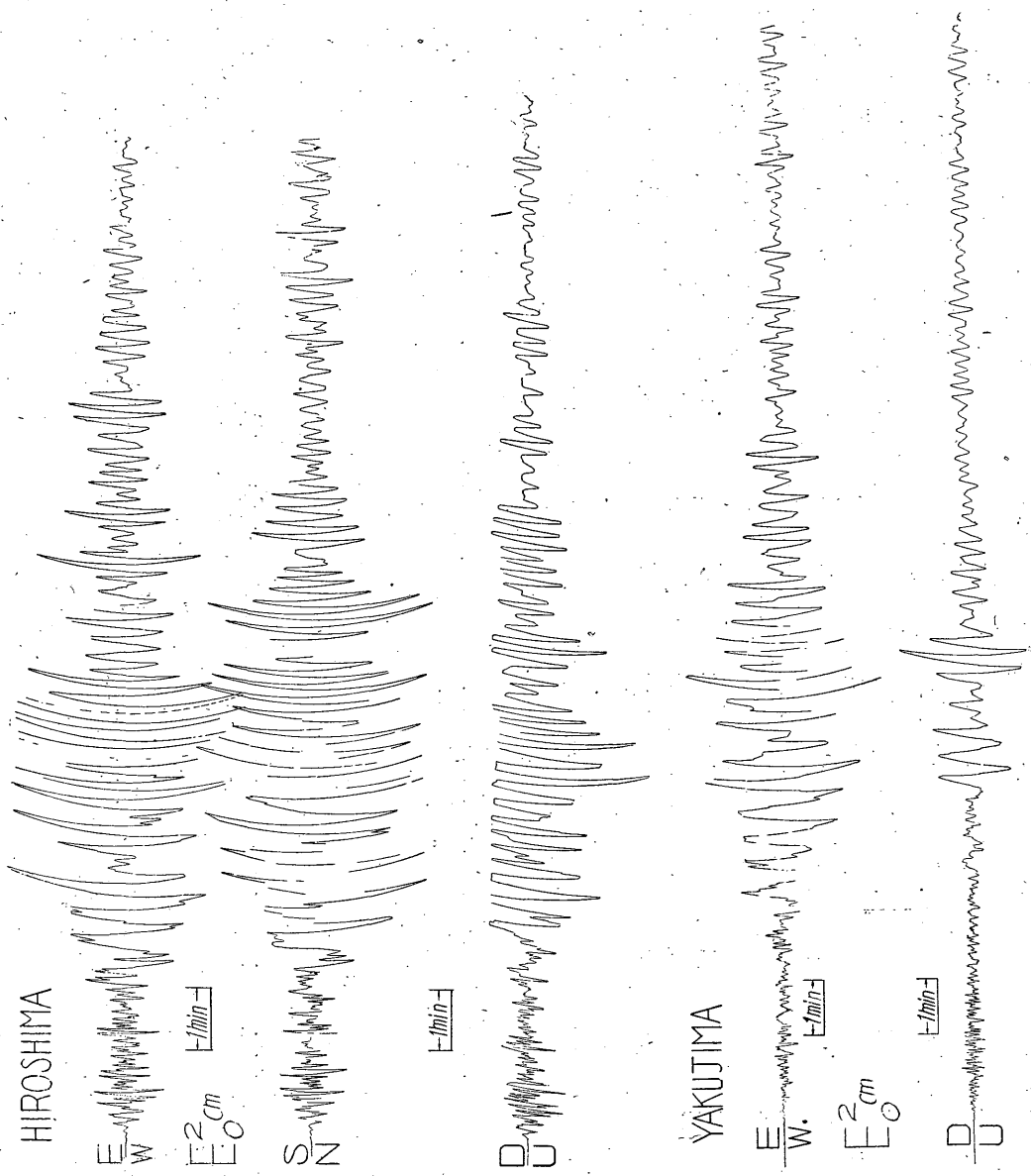
# SENDAI



## 常 数

官 署 名	地 震 計 名	成 分	固有周期 ( $T_0$ )sec	倍率 (V)	摩 擦 値 ( $r$ )mm	制 振 度 ( $\nu$ )
宮 古	51 年 型 強 震 計	N-S	6.0	1	<0.04	8
		E-W	6.0	1	<0.04	8
		U-D	5.0	1	<0.03	8
入 戸	51 年 型 強 震 計		同		上	
仙 台	50 年 型 強 震 計		同		上	





常 数

地 震 計 名	成 分	固有周期 ( $T_0$ ) sec	倍率 ( $v$ )	摩擦係数 ( $r/T_0^2$ )	制振度 ( $v$ )
ワイーヘルト式地震計	N-S	4.6	93	0.006	4.8
	E-W	4.6	121	0.014	5.8
	U-D	3.8	78	0.014	3
ワイーヘルト式地震計	N-S	3.9	92	0.05	3
	E-W	4.5	82	0.01	4
	U-D	3.5	78	0.03	3

(13) 頁に掲載した記象紙の地震計常数

官署名	地震計名	成分	固有周期 ( $T_0$ )sec	倍率 ( $v$ )	摩擦係数 ( $r/T_0^2$ )	制振度 ( $v$ )
稚内	大森式地震計	N-S	15.6	15	0.0015	7.0
		E-W	15.8	15	0.0003	7.5
浦河	簡単微動計	N-S	4.4	50	0.02	5.6
		E-W	4.7	50	0.02	6.0
帯広	簡単微動計	N-S	3.3	40	0.037	—
		E-W	4.3	40	0.027	—
釧路	簡単微動計	N-S	4.0	40	0.02	7.7
		E-W	4.1	40	0.01	6.7
青森	ウィーヘルト式地震計	N-S	4.2	94	0.021	4.5
		E-W	5.0	94	0.022	5.6
		U-D	3.3	83	0.025	5.8
札幌	ウィーヘルト式地震計	N-S	5.1	124	0.017	6.5
		E-W	5.1	120	0.015	7.5
		U-D	4.0	75	0.044	2.8

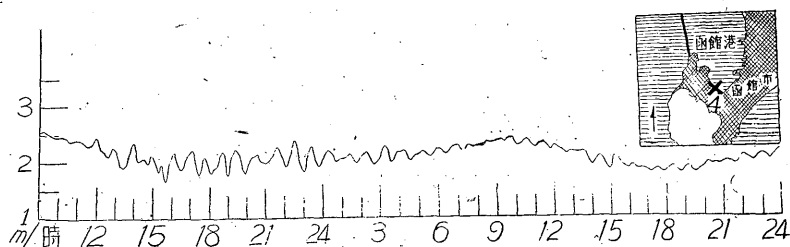
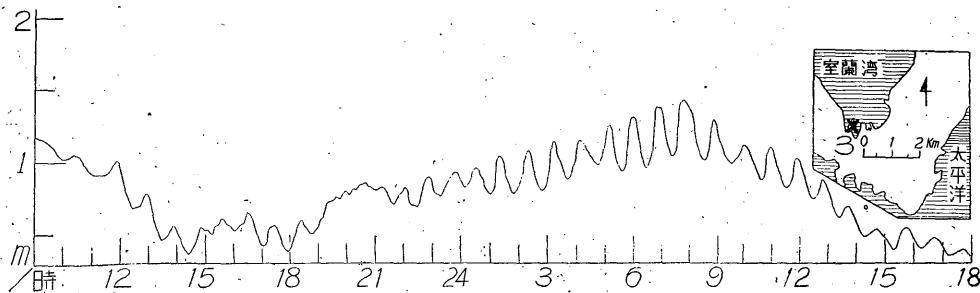
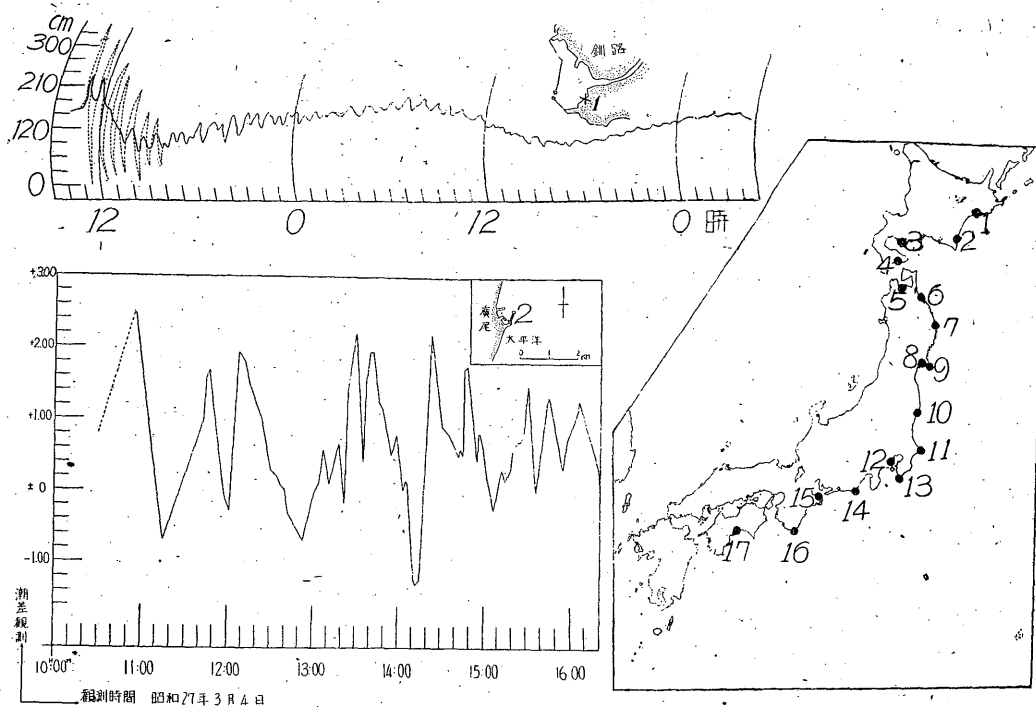
(14) 頁に掲載した記象紙の地震計常数

官署名	地震計名	成分	固有周期 ( $T_0$ )sec	倍率 ( $V$ )	摩擦係数 ( $r/T_0^2$ )	制振度 ( $v$ )
宮古	ウィーヘルト地震計	N-S	5.2	96	0.009	6.4
		E-W	5.0	94	0.009	5.6
		U-D	5.0	51	0.009	4.7
仙台	ウィーヘルト式地震計	N-S	5.0	79	0.0025	6.6
		E-W	5.8	74	0.0012	7.3
		U-D	4.8	64	0.0050	10.1
八戸	ウィーヘルト式地震計	N-S	4.6	90	0.0073	4.6
		E-W	4.8	89	6.0075	5.6
		U-D	4.5	74	0.0059	4.5
筑波山	ウィーヘルト式地震計	N-S	5.0	80	0.03	4
		E-W	4.4	79	0.03	4
		U-D	4.7	72	0.04	5
大島	ウィーヘルト式地震計	N-S	3.2	108	0.04	8
		E-W	3.2	111	0.08	6
		U-D	2.7	78	0.07	3

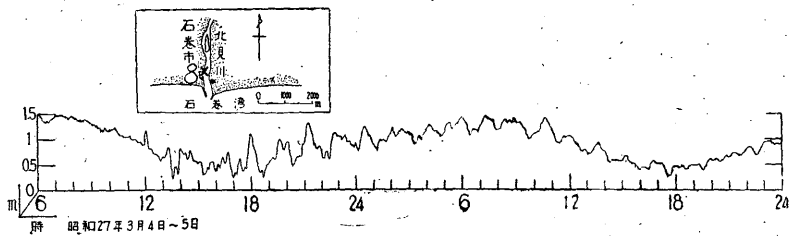
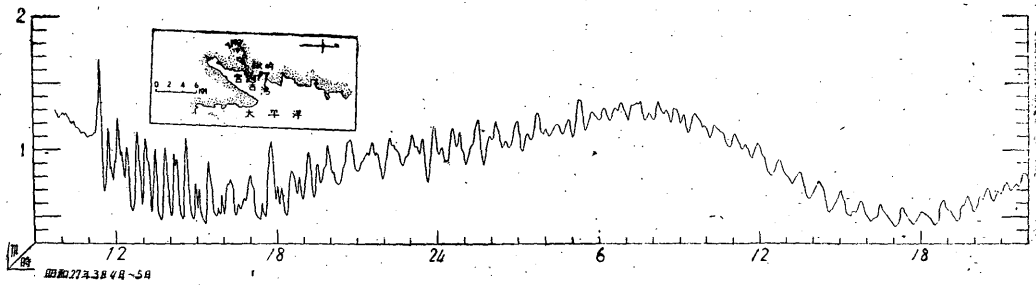
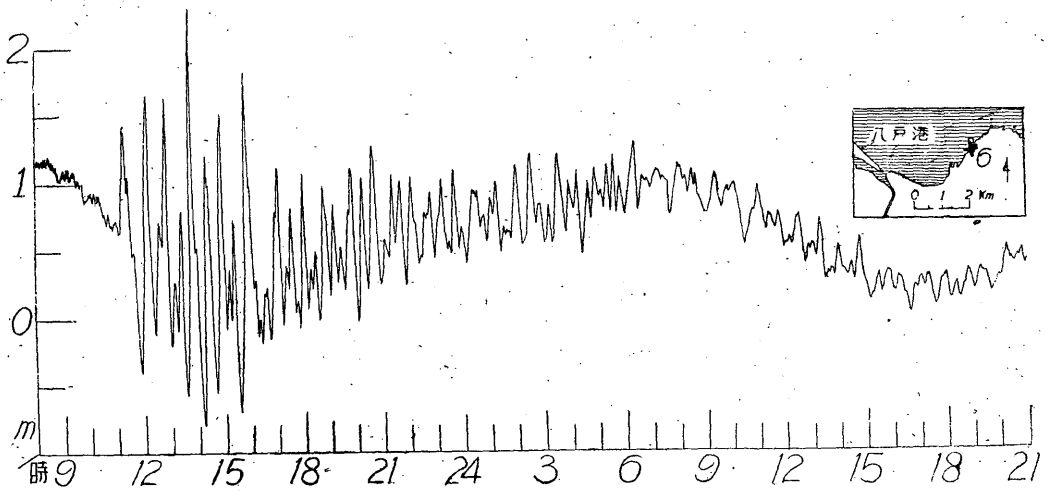
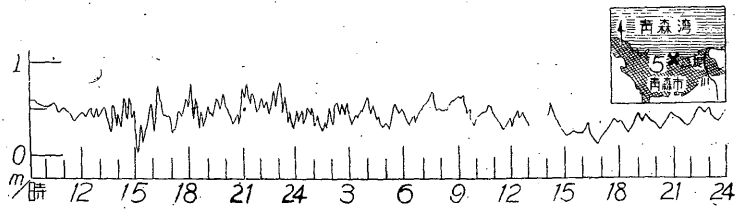
(15) 頁に掲載した記象紙の地震計常数

官署名	地震計名	成分	固有周期 ( $T_0$ )sec	倍率 ( $V$ )	摩擦値 ( $r$ )mm	制振度 ( $v$ )
釧路	51年型強震計	N-S	6.0	1	<0.04	8
		E-W	6.0	1	<0.04	8
		U-D	5.0	1	<0.03	8
青森	50年型強震計		同	上		
稚内	51年型強震計		同	上		
神戸	ウィーヘルト式地震計	N-S	4.4	85	( $r/T_0^2$ ) 0.02	4
		E-W	4.4	80	0.06	6
		U-D	4.8	66	0.02	4

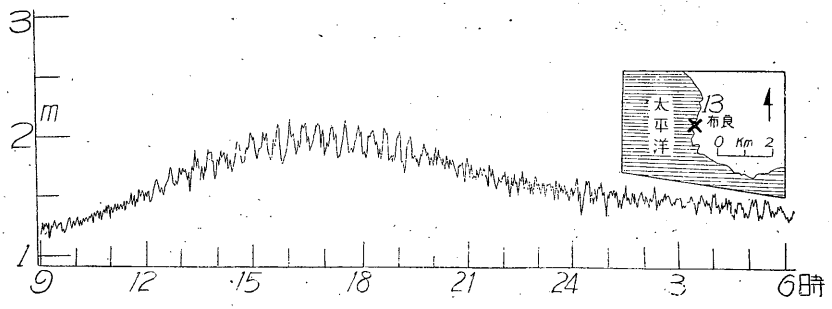
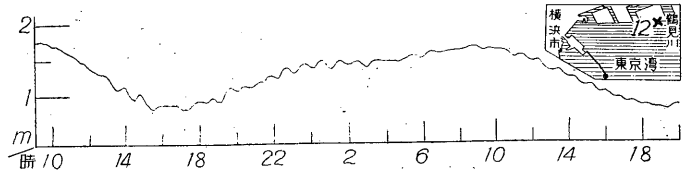
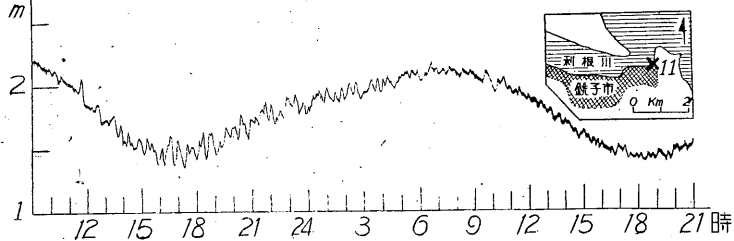
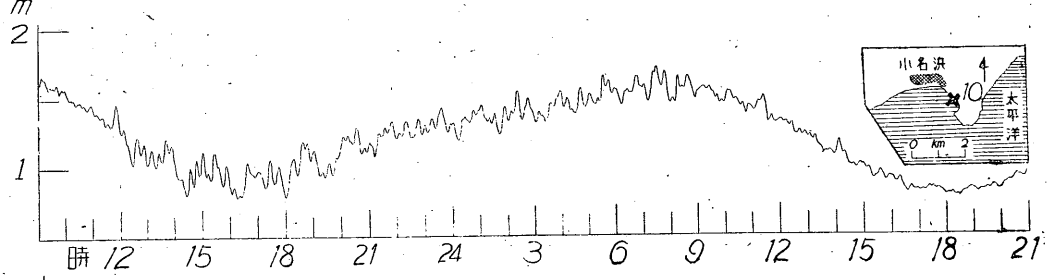
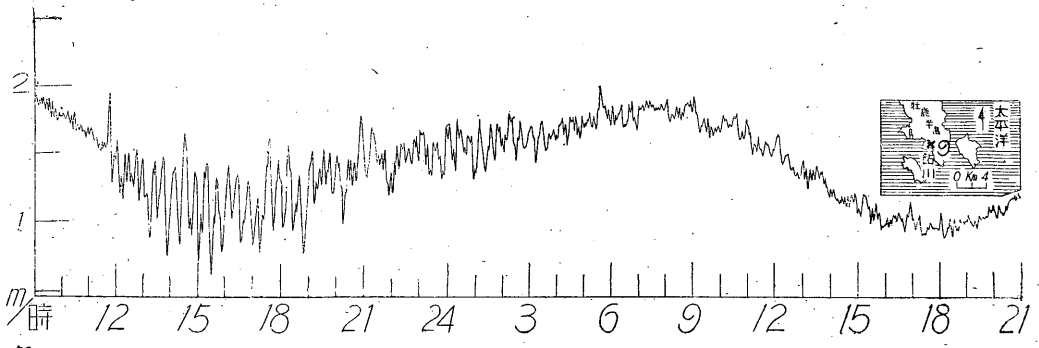
十勝沖地震のおもな検潮儀記録



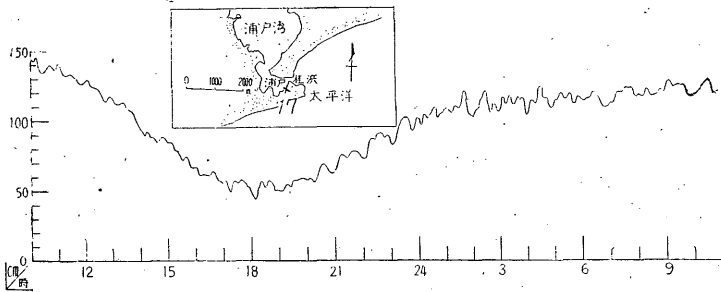
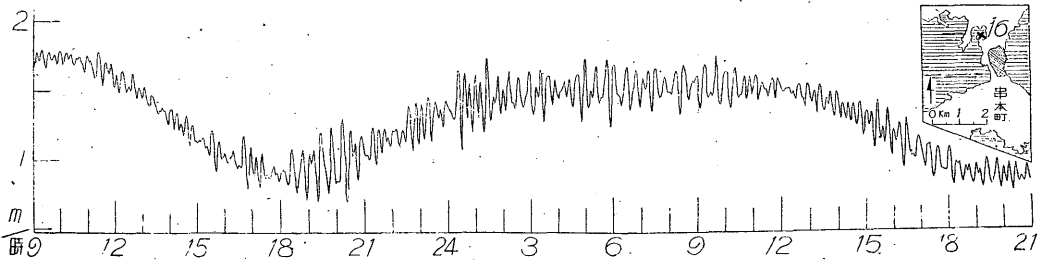
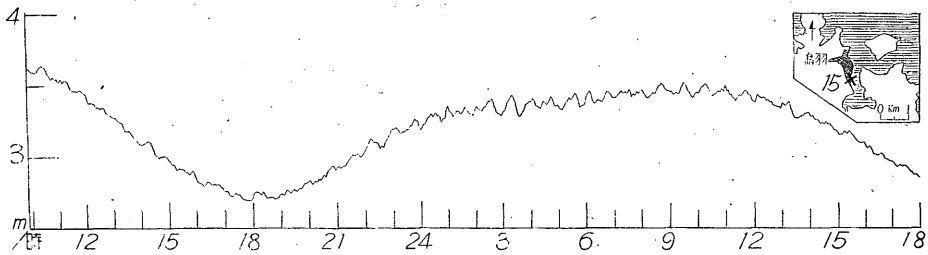
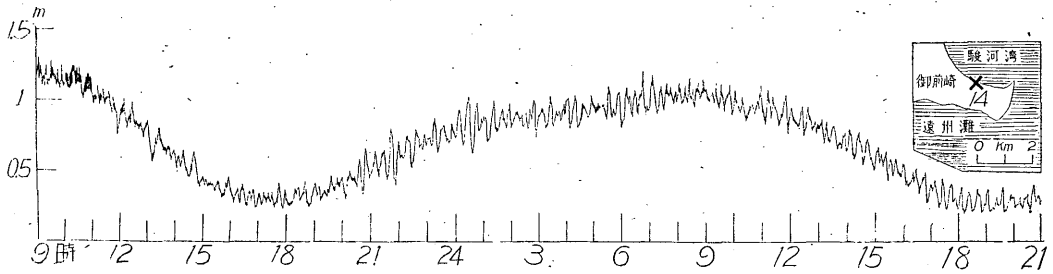
- 1 ; 網 路 港 昭和 27 年 3 月 4 日 10 時 ~ 6 日 4 時 の 検 潮 儀 記 録
- 2 ; 広 尾 港 昭和 27 年 3 月 4 日 10 時 ~ 5 日 18 時    "
- 3 ; 室 蘭 港 昭和 27 年 3 月 4 日 9 時 ~ 5 日 18 時    "
- 4 ; 函 館 港 昭和 27 年 3 月 4 日 9 時 ~ 5 日 24 時    "



- 昭和27年3月4日~5日
- 5 ; 青森港 昭和27年3月4日9時~5日24時の検潮儀記録
  - 6 ; 八戸港 昭和27年3月4日9時~5日21時 //
  - 7 ; 宮古港 昭和27年4月4日9時~5日22時 //
  - 8 ; 石巻港 昭和27年3月4日6時~5日24時 //



- |      |     |                         |   |
|------|-----|-------------------------|---|
| 9 ;  | 鮎川  | 昭和27年3月4日9時~5日21時の検潮儀記録 |   |
| 10 ; | 小名浜 | "                       | " |
| 11 ; | 銚子  | "                       | " |
| 12 ; | 横浜  | 昭和27年3月4日9時~5日19時       | " |
| 13 ; | 布良  | 昭和27年3月4日9時~5日6時        | " |



- 14 ; 御前崎 昭和27年3月4日9時~5日21時の検潮儀記録  
 15 ; 鳥羽 昭和27年3月4日10時~5日18時 "  
 16 ; 串本(潮岬) 昭和27年3月4日9時~5日21時 "  
 17 ; 高知(浦戸桂浜) 昭和27年3月4日10時~5日11時の検潮儀記録